

第7章

計画の達成状況の評価 ・フォローアップ及び見直し方法

7.1 評価の指標

- 本計画における4つの目標について、下表の8つの評価指標を設定します。
- 計画期間の最終年度である2027年度(令和9年度)の目標値達成を目指し、各施策を推進します。
- 現在の実態データが不明あるいはデータ取得ができていないものもあることから、今後施策の円滑な展開や評価に向け、協議会としてデータの収集を図り、必要に応じて公開を進めることで施策評価につなげていきます。

対応する目標	評価指標	基準値 (R4年度)	目標値 (R9年度)	
目標1	町民の移動満足度※1	18%	80%	
目標1	町民の将来の移動に対する安心度※2	15%	60%	
目標1、2、3	町内路線バス	収支率※3	39%	基準値より向上
		利用者1人当たりにかかる町の負担額※4	349円/人	基準値より減少
		利用者数	79,616人	82,000人
目標1、2、3	六日町線 (大木六経由) ※5	収支率	29%	基準値より向上
		利用者1人当たりにかかる行政負担額※6	235円/人	基準値より減少
		利用者数	22,589人	22,800人
目標1、2、3	森宮野原線 ※7	収支率	29%	基準値より向上
		利用者1人当たりにかかる行政負担額	878円/人	基準値より減少
		利用者数	21,591人	23,000人
目標3	湯沢町を訪れる観光客の満足度※8	夏季:78.7% 冬季:75.4%	80%	
目標3	湯沢町までの移動手段の自家用車割合※9	68.7%	基準値より減少	
目標3	サイクルステーションの利用者数	R5年度に利用者数を計測し、 基準値を設定	基準値より向上	
目標4	高齢者(65歳以上)の運転免許証自主返納率※10	1.8%	計画期間5年間の 平均値が3%	

※1 町民アンケートによる「満足」「やや満足」の合計。

※2 町民アンケートによる「安心できる」「やや安心できる」の合計。

※3 [算出式] 経常収益/経常費用。[データ取得方法] 運行事業者実績(R3.10~R4.9)より。

※4 [算出式] 湯沢町内の路線バス補助額/補助対象町内路線バス利用者数。[データ取得方法] 運行事業者実績(R3.10~R4.9)より。

※5 大木六経由は地域公共交通確保維持改善事業費補助金対象系統。

※6 [算出式] 経由する自治体の補助額の合計/補助対象系統の利用者数。[データ取得方法] 運行事業者実績(R3.10~R4.9)より。

※7 十二峠・清津峡経由は新潟県生活交通確保対策補助金対象系統。

※8 湯沢町観光振興計画を参照。「大変満足」「満足」の合計。

※9 湯沢町観光振興計画を参照。湯沢町までの移動手段のうち、主な交通手段。

※10 [算出式] 2022年(令和4年)1~12月の高齢者運転免許証自主返納者数/2021年(令和3年)12月末の高齢者運転免許証保有者数。
[データ取得方法] 南魚沼警察署の免許返納者実績より。

7.2 フォローアップ・見直しの方法

- 計画を進めるにあたりPDCAサイクル(※1)に従い、湯沢町地域公共交通活性化協議会において、計画のフォローアップ(※2)・見直しを行うものとします。
- 各施策の検討・実施状況は本計画の計画期間である2023年度(令和5年度)から2027年度(令和9年度)にかけて1年毎に確認を行います。
- 本計画は、計画の進捗状況に応じて中間見直しを行います。

※1 PDCAサイクル: Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)のサイクルを繰り返すことで、継続的に施策の改善を促す方法を指します。

※2 フォローアップ: 実施した施策等に対して、後ほどその効果の確認や強化を行うことを指します。